

講義名	公共政策論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	西井 和夫		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42068

主題と概要

公共政策は、主として「公的な政策の発案、決定、執行」の活動連鎖を対象とする。したがって政治学や行政学までをも含むことになる。しかしそれらはまた固有の学問分野でもあるので、本講義では政治プロセスや行政プロセスという形で扱うことになる。「政策科学」という場合もあるが、その場合はやや「経済政策」的色彩を帯びることになる。できるだけニュートラルな形で公共政策のカバーする領域を概観することとし、前半部では公共政策学の基礎理論を中心に講義し、一方後半部ではプロセスについてできるだけ政策決定および評価の方法論を解説するとともに、公共政策のガバナンス（政策管理システム）に触れる。

到達目標

前半部では、公共政策の捉え方やその基礎知識を学ぶ意義を理解し、また公共政策論の研究領域（政治と行政のインターフェースの領域）の諸モデルや政策科学としての諸理論の展開についても基本的な知識を習得する。
後半部では、さらにわが国の公共政策の発案—決定—執行および評価といった政策過程（プロセス）について公的規制等の政策評価の方法論の基礎的理解とNPM(New Public Management)への基本的理解までを習得する。

提出課題

本授業では、講義内容の理解度確認のための課題演習（レポート）を予定しているので、注意されたし。

評価の基準

平常点50%（講義内での簡単な演習課題への取組みの評点を含む）、試験（確認テストやそれに代わる課題レポートを含む）50%

履修にあたっての注意・助言他

参考テキストやプリントに従っての連続的な積み上げ授業であるので、欠席は避けること。
定期試験期間中の試験はないので注意！

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

講義時に配布するプリント

授業計画

- 1 公共政策とは 本講義で何を学ぶか（政策と計画）
- 2 公共政策論の基礎 公共政策とは何か、
- 3 アジェンダ設定と問題の構造化（1）
- 4 アジェンダ設定と問題の構造化（2）
- 5 公共政策の手段と規範的判断（1）
- 6 公共政策の手段と規範的判断（2）
- 7 政策決定と合理性
- 8 前半部テスト 前半部の講義の確認
- 9 費用便益分析
- 10 合理的意思決定の限界
- 11 公共政策のガバナンス
- 12 公共政策の評価
- 13 公共政策管理システム : NPM（その1）
- 14 公共政策管理システム : NPM（その2）
- 15 後半部テスト 後半部の講義の確認

予習・復習

毎回の講義内容への理解に応じて、予習・復習の必要性和その量・程度を各自で判断しなさい。

備考